

チャレンジ項目記入数

7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を明文化し事務所に掲示しており、経営目標や事故撲滅に向けた安全運転指標を毎月の定例会議で共有し、理念や指標に沿った行動を実践している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		国交省のガイドラインに則って、掲示している法令遵守の考えを朝礼の際に読み上げ周知徹底している。運輸安全マネジメントを社内に掲示する方法で社内共有し、毎年見直しを行っている。															16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為に参加しない旨を就業規則に記し、事務所に掲示することで社内で周知徹底している。										10					16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		事故対応時に専任者を配置し、保険会社との連携を密にしている。															16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		当社の運送サービススキルを知的財産権の最たるものと位置づけるとともに、他社の知的財産権を侵害しないように年に1度の定例会議で周知徹底している。								8.2 8.3	9						16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		取引先・社員の個人情報や機微情報について、PC上のデータにはすべてセキュリティをかけ、紙ベースのデータは施錠管理している。															16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		クライアント、各種取引業者、保険会社等との連携強化を心掛け、定例会議やコンプライアンス会議を開き業種別に事故撲滅や業界関連情報を交換することで共にコミュニケーションをとっている。														16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	【予定】 2026年3月までにBCPの観点から経産省事業継続力強化計画を策定し申請、認定を受けると共に、災害に備えた訓練を実施する。									9		11		13.1		16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	新代表者のもと、2番手3番手の育成をするなど新たな組織体制を整備したり、経営理念に沿った次世代の人材を育てようマネジメントセミナーなどに積極的に参加し日々修練している。								8	9							17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		管理者はセミナーなどで各種ハラスメントについて学び、社長や役員と定期的に面談できる場を設けている。就業規則に差別やハラスメントを禁止するよう定め、誰もが常に関覧できる状態にし差別や各種ハラスメントがないことを確認している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		始業前の点呼とともにアルコールチェックを行い、道路や天候情報を共有し安全に目的地へ到着できるよう環境整備に取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		社労士による指導の下、同一労働同一賃金のガイドラインに沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		2024問題対策でデジタコの採用を急務としている。デジタコを採用することで適切な運行ルートの指示が可能になり、運行時間、休憩時間、残業時間の管理を徹底し、リフレッシュのための休暇を設けワークライフバランスを推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		社員には毎月乗務員教育や危険予知訓練、年1回の適性検査を実施したり、業務に欠かせないフォークリフトや大型免許の取得補助を行いサポートしている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		社員には会社負担で健康診断を実施しており、長距離及び夜間運行ドライバーについては年に2回受診してもらい検査結果をもとに各種経費補助、通院指導を行い心身の健康維持管理に取り組んでいる。			3					8							17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		人種、老若男女による差別的待遇を禁止し、中途採用も分け隔てなく行うよう環境整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	今後新たな感染症が発生した場合を鑑みて、サーマル検温器・消毒薬・マスクを備蓄している。有事の際には管理者同士の直接接触を回避するために時差出勤をしたり、会議や研修はZOOMを採用するなど規定を設けている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12				

チャレンジ項目記入数

7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		当社の迅速・安全・確実な運送技術を確保するために、社員にはドライバー研修や危険予知訓練、適性検査を実施するよう仕組みを構築している。すべてのトラックにドライブレコーダーを設置完了し、今後も100%の設置率継続に取り組んでいく。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		ホームページの文字や数字を誰もが利用しやすいようにユニバーサルデザインを採用している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		役職員一体となり、トラック協会及び各種自治体と協力し、町の清掃活動に積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		地域のハザードマップを社内に掲示している。【予定】2026年3月までに、事業継続力強化計画を策定し申請、認定を受ける。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	高校生に対する、トラック協会主催の出前授業に協力している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	Uターン、Iターン人材採用を積極的に推進している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17